



安全・安心・快適な高速道路が結ぶ、人と人、地域と地域。
夢ひろがるアイデアと、心のこもったサービスで
新しい出会いや喜びを生み出します。
NEXCO西日本は、100年先の未来に向け
技術の革新と新たな価値の創造に挑み続けます。

西日本高速道路株式会社
Corporate Profile 2011

西日本高速道路株式会社

〒530-0003
大阪市北区堂島1-6-20堂島アバンザ18F
TEL:06-6344-4000
<http://www.w-nexco.co.jp>



一歩前へと踏み出すことで『自立』と『成長』につなげ 未来への新たな価値を創造します

NEXCO西日本グループは、2011年度から2015年度までの5カ年を対象とした「中期経営企画2015」を策定しました。グループビジョンとして掲げた『自立』と『成長』は、これまでの決められたことを着実に全うするところから一歩踏み出し、自らが発想し、実行していくことでさまざまな変化に素早く対応し、新たな価値を創出し続けていくことを目指したものです。

高速道路という資産を最大限利用し、社会とのつながりを深め、信頼関係を築き、新たな価値を創っていくことにより、グループが長期的・持続的に成長していくことにつながると確信しています。

近年、当社グループを取り巻く経営環境は、環境・エネルギー意識の高まり、多発する異常気象、高速道路の老朽化、少子高齢化、顧客ニーズの多様化など激しく変化しており、これらの社会的な課題に対する取り組みが一層求められています。

先に発生した東日本大震災において、高速道路では東北自動車道が被害を受けましたが、わずか1日で仮復旧し救護活動の大動脈としての大任を果たしました。NEXCO西日本グループでも「災害対応力の強化」を最重要テーマの一つに掲げ、地域との連携から社会全体に対する防災まで、幅広い視点で皆さまからの期待に応え得る高速道路であることを目指します。

また、設計から保守に至る一貫したトータルマネジメントによる業務効率化や技術品質の向上を実現し、安全で安心な道路サービスを提供します。道路建設においては、地域の発展、国際競争力の強化、災害時の代替機能確保に向け、ネットワークを形成・充実させなければなりません。

NEXCO西日本グループは、低炭素社会の実現、新たな事業の創出、海外への積極的展開など、グループ全社が総合的な力を発揮し、道路事業のトップランナーとしての役割を果たすことで、西日本地域の発展に寄与して参ります。

これからも引き続きNEXCO西日本グループへのご指導ご鞭撻、またご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



西日本高速道路株式会社
代表取締役会長 兼 社長

西村 英俊

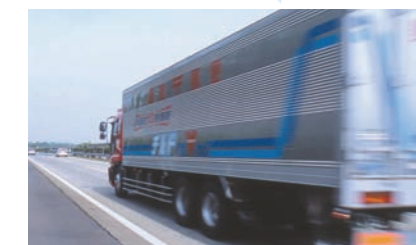
高速道路でつながるネットワーク

高速道路は、地域間の時間距離の飛躍的短縮など交通機能の向上を通じて、沿線地域の工業や農業、観光など諸産業の活性化、行動圏の拡大による日常活動の活発化をもたらし、これらにより地域の活性化に大きく寄与しています。NEXCO西日本は、高速道路をより多くの方々に活用していただけるよう、ネットワークの整備と安全性、快適性、定時性・信頼性の確保、環境の向上など、たゆまぬ努力を続けてまいります。



観光

西日本には魅力ある世界遺産や観光地が多数あります。高速道路は観光ネットワークを支えています。



物流

カーブや振動の少ない高速道路で早く確実に。毎日の生活を支えます。



医療

ドクターヘリが高速道路に直接離着陸することで、病院への搬送がスムーズに。大切な命を守ります。



地域活性化

さらに便利にご利用していただけるよう、地域活性化ICやスマートIC、ウェルカムゲートなどを設置しています。



地域間交流

高速道路ネットワークの整備に伴い、高速バスなどにより地域間の人の移動も活性化します。



空港・港湾へのアクセス

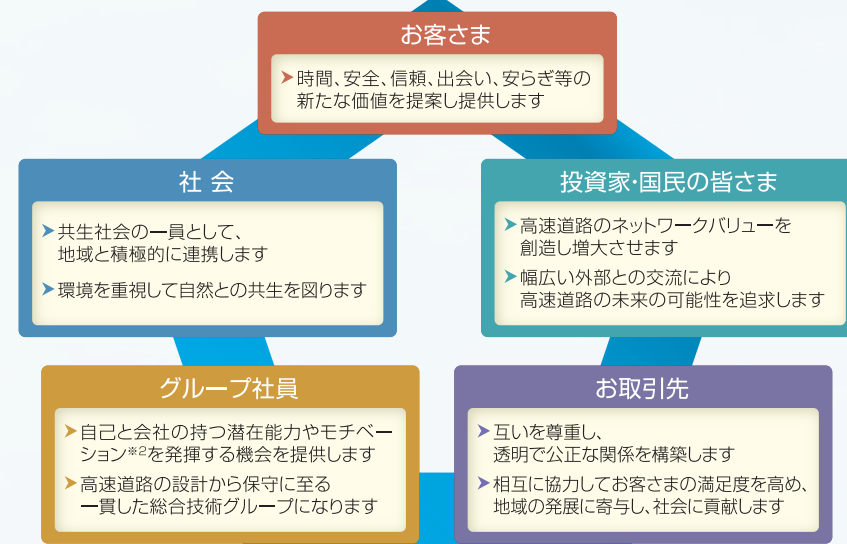
高速道路は空港・港湾への重要なアクセスとして、主要な空港、港湾、都市を結節します。

グループ理念

私たちは
お客さまの満足度を高め、
地域の発展に寄与し、
社会に貢献する
企業グループをめざします。

当グループは、高速道路の
重要な社会的インフラとしての
使命を果たし、
常に全ての活動において、
企業の社会的責任(CSR)の遂行を
共通の目標とします。

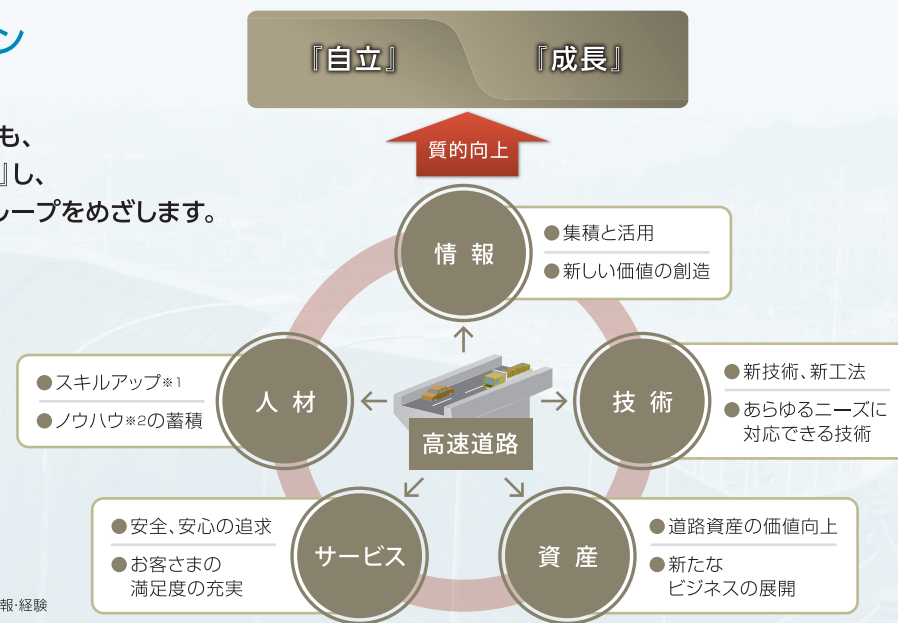
5つのステークホルダー^{※1}への約束



※1: ステークホルダー=利害関係者
※2: 目標に向かって行動する原因(動機)や熱意、やる気のこと

グループビジョン

当グループを取り巻く
厳しい環境・情勢下においても、
その変化を乗り越えて『自立』し、
『成長』し続けられる企業グループをめざします。



※1 訓練して技能を身につけること
※2 専門的な技術や技術競争力の基となる情報・経験

自立

グループが保有する技術・ノウハウを結集し、
いかなる外部環境の変化にも対応することで、
自ら積極的に地域社会と連携してより良い社会、
より快適で安全な高速道路の実現に向けた取組みを実践します。

グループ全体で集積した技術、知識及び経験を活用して、
新たな価値の創造に挑戦することにより、
どのような外部環境の変化でも成長につなげていく
企業グループへと進化し、お客さまに満足を提供します。

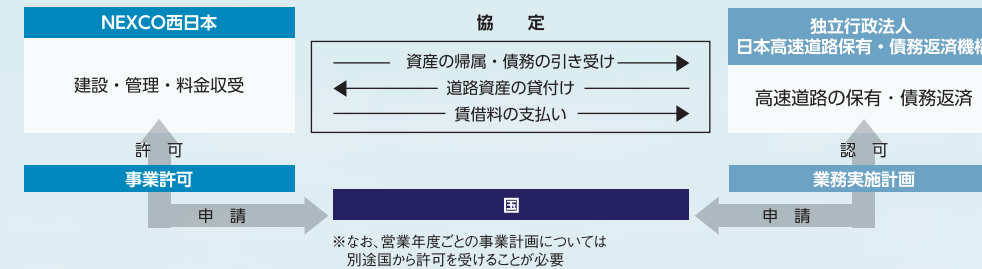
成長

高速道路の建設・管理を着実にを行い、
ハード・ソフト面の資産価値を向上させることにより、
成長の源泉となる事業基盤を確立します。

高速道路を中心とした経営資産に
当グループ独自の価値を付加することにより、
長期的・持続的に成長する
新たな高速道路へと変革します。

【 高速道路事業 】

▼高速道路事業実施スキーム



保全サービス事業

お客さまにいつでも快適に高速道路をご利用いただけるよう、
路面や道路構造物の点検、清掃、補修などの日常的な維持管理をはじめ、
24時間体制での道路巡回、交通情報の提供、料金サービスなどを行っています。
また、高速道路の安全・安心を高めるための交通安全対策や災害対策などにも取り組んでいます。



建設事業

高速道路保有・債務返済機構との協定に基づき、高速道路建設事業を
計画的かつ着実に推進します。また高速道路の建設・管理を通じて
培ったノウハウと技術力を生かして、高品質で低価格なサービスを社会に
還元していきます。



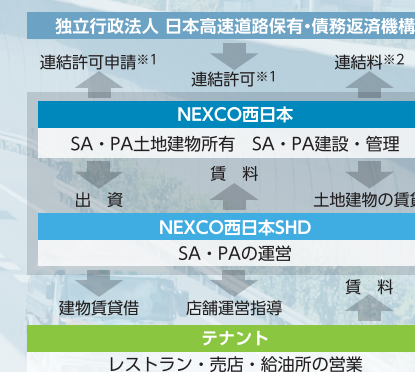
【 関連事業 】

SA・PA(サービスエリア・パーキングエリア)事業

お客さまに「つろぎ、楽しさ、にぎわい」を感じていただける「お客さま満足施設」として、SA・PAのさらなるサービス向上を図ります。



▼SA・PA事業実施スキーム



※1 連結許可申請とは、当社が高速道路を利用されるお客さま向けに設置する商業施設などを高速道路に連結するために必要な手続き(連結許可申請のほか、道路占用許可申請を行っているSA・PAがあります)
※2 連結料とは、上記連結許可(※1)に伴い、当社から高速道路機構に支払う費用(連結料のほか、道路占用料を支払っているSA・PAがあります)

その他事業

新事業への積極的なチャレンジと着実な展開による収益の拡大、地域社会への貢献を目指し、多様な事業展開をしています。

海外事業

高速道路の建設・管理を通じて培ったノウハウと技術力を海外でも生かし、国際社会に貢献していきます。

事業エリア(24府県)

〈凡例〉高速道路

- 営業中道路
- 事業中道路注1
- 事業中道路注1(新直轄方式注2で整備する区間)
- 他の自動車専用道路など

注1 事業中のインターチェンジ等の名称は仮称

注2 国土交通大臣が施行主体となって高速道路を整備する方式

※標記上の略称

JCT：ジャンクション

SI：スマートインターチェンジ BS：バスストップ

事業データ

【高速道路事業】

- ・営業中道路 ----- 3,375km
- ・利用台数 ----- 290万台/日(平成22年度実績)
- ・営業収入 ----- 5,062億円(平成22年度実績)
- ・事業中道路 ----- 158km
- ・事業中道路 ----- 326km
(新直轄方式で整備する区間)

※事業中道路には、新名神(大津JCT～城陽、八幡～高槻第一JCT)の35kmは含まない

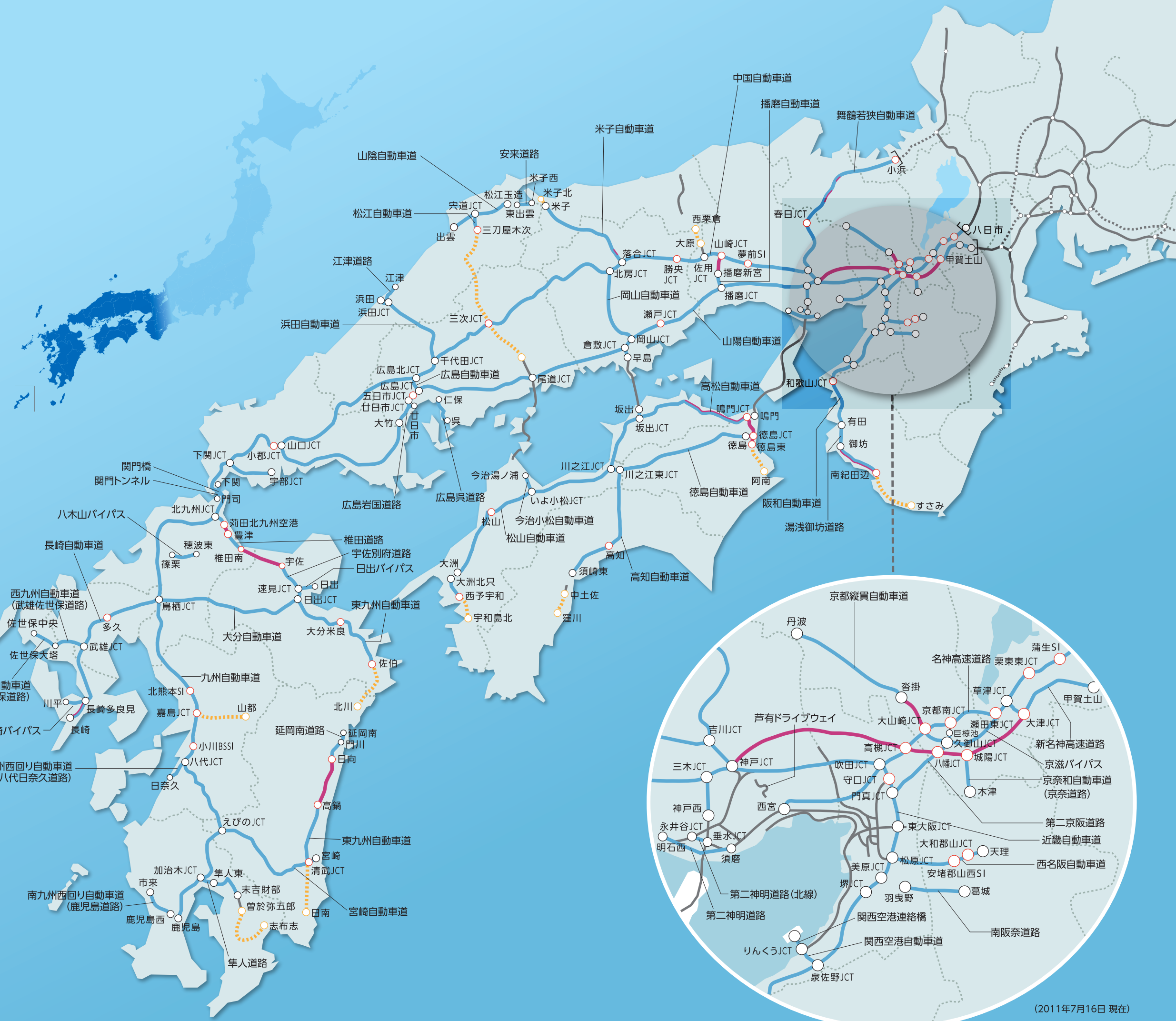
【関連事業】

- ・サービスエリア(SA) ----- 98箇所(92箇所)
- ・パーキングエリア(PA) ----- 197箇所(90箇所)
- ・売上高 ----- 1,420億円(平成22年度実績)

※上下線各1カ所でカウントしたエリアの数

※()内は、第三セクターの運営を除いた有人の営業施設の数

沖縄



(2011年7月16日現在)

保全サービス事業



建設事業

技術開発 / 環境



保全事業

維持管理業務

安全・安心で快適な走行環境を確保するため、点検、調査、清掃、植栽作業、補修、雪氷作業などを、パートナー会社と一体となって効率的に実施しています。



橋梁たつき点検

老朽化対策

道路構造物の健全性を確保するため、水洗い清掃、塗替塗装、防水工などの対策に加え、LCC(ライフサイクルコスト)を考慮し、床版の架け替えなどの抜本的な対策を実施しています。



橋梁床版の全面補修工事

災害対策

予防保全の観点から、橋脚の耐震補強を推進するとともに、のり面の点検による危険箇所抽出、補強工事の施工、監視体制の強化といった総合的な防災対策を実施しています。



のり面防災対策

交通安全対策

高速道路上での交通事故撲滅を目指し、高機能舗装や高輝度レーンマークの施工、案内標識・区間線の改善を実施しています。また、逆走防止に向けた様々な取り組みを行っています。



高機能舗装(右は従来の舗装)

交通管理・施設制御

交通状況や設備運用状況などを24時間監視し、事故や故障に迅速に対応します。また、リアルタイムでわかりやすい情報をお客さまや関係機関へ適切に提供しています。



道路管制センター

料金收受等

料金所では常に真心をこめたお客さまサービスに努め、さらなるお客さま満足度の向上に取り組んでいます。またETCレーンでの事故防止に向けた様々な対策を実施しています。



有人レーンでの料金收受

建設事業

高速道路ネットワークの整備と機能向上

地域の発展と、地域の暮らしや利便性向上に貢献するため、より安全で使いやすい高速道路ネットワークの整備や、既存ネットワークの機能向上を推進します。また、会社の経営資源である技術力やノウハウを生かして、国や地方公共団体が実施する事業への技術支援業務や、新たなスキーム(官民連携など)での道路事業を展開していきます。



新規建設区間



車線拡幅工事

技術開発

新技術の開発と採用による効率的な事業実施

交通事故の防止、渋滞の解消、老朽化や損傷への対応、防災、環境の保全など、最新の科学的知見を積極的に採り入れた技術開発と、技術の実用化を図ります。合理的な設計手法の導入や、新材料・新技術・新工法の採用などにより、効率的な建設や管理事業を実施し、コスト削減を図りながら、高品質で耐久性に優れた安全・安心な高速道路を提供します。



道路施設電波測定車



トンネルLED照明

環境

持続可能な社会の実現を目指した環境保全活動の推進

事業活動が環境に及ぼす影響を真摯に捉え、高速道路事業者としてまた社会の一員として、低炭素社会の実現、循環型社会の形成、自然と共生する社会の推進に積極的に取り組みます。NEXCO西日本では「環境方針」「環境実行目標」を策定し、環境経営の着実な推進を図っています。



太陽光パネル



樹林化後のり面